

農林水産統計コース
帰国研修員巡回指導班報告書

国際協力事業団
研修事業部

研管

JR

83-13

昭和57年度帰国研修員巡回指導

農 林 水 産 統 計 コ ー ス
帰国研修員巡回指導班報告書

JICA LIBRARY



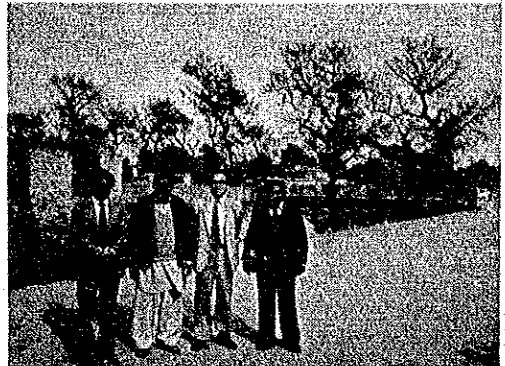
106121743

国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団	
受入 月日 84.5.24	117
登録No. 06397	80
	TAD



パキスタン、センサス統計局にて
表敬及び帰国研修員面談



パキスタン、ラウルピンディー、
バラニ（半乾燥地）農場にて



スリ・ランカ JICA コロンボ事務
所会議室 セミナー開催



パキスタン、シンド州統計局に
て表敬及び帰国研修員面談

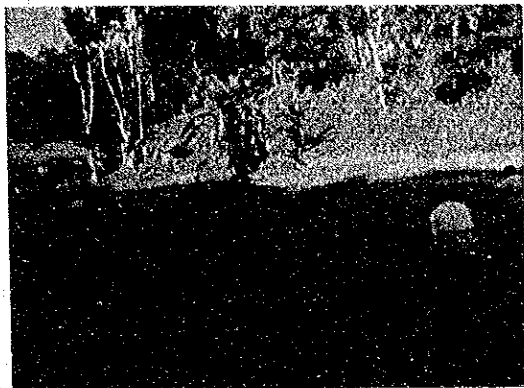


スリ・ランカ、ブルムラ村米作
地帯、現地指導風景



スリ・ランカ、ブルムラ村米作
地帯、坪刈り調査風景

スリ・ランカにおける坪切り調査指導



1. 調査区域の選定
乱数表によって選定された坪刈り地点にサンプル面積を区画する。



2. 調査面積の測定
刈り取る面積は巻尺によって一辺 16.6 フィート、対角線が 23.4 フィートからなる正方形に仕切られる



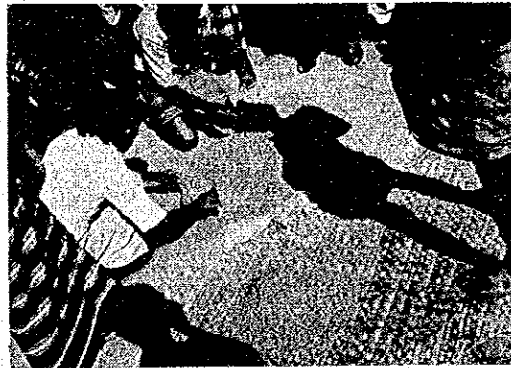
3. 調査区域内の刈り取り
刈取りは巻尺の直下から次第に中央に向かって進む。刈り取ったあと落ち穂をひろい集め正確を期す。



4. 脱粒
むしろ上に手作業で脱粒し、稲わら、わらくず等を取り除く。



5. 脱粒及び風選
脱粒したもみとゴミを選別する。もみを上から落下させゴミ等を仕分けする。



6. 収量測定
もみの量を測定する。もみの量は「重量」ではなく「容積」である。計量は容積単位 ($1/2$, $1/10$ 等) のブリキ缶によって行なわれる。

目 次

写 真

I 指導班派遣の概要	1
1. コースの概要	1
2. 派遣の目的	1
3. 指導班の構成	1
4. 派遣国および派遣期間	2
5. 行程および指導・調査内容	2
6. 農林水産統計コース国別・年度別参加者人数	4
II 帰国研修員の動向に関する調査結果	9
1. 帰国研修員の実態	9
2. 農林統計研修に対する帰国研修員の意向	11
3. 自己の業務に係わる統計方法論的諸問題	14
4. 研修の成果	14
5. JICA, 農林水産省への要望	14
III セミナー	16
IV 統計機構と統計作成の周辺事情	18
1. パキスタン	18
2. スリ・ランカ	21
V 現地視察に関する若干の考察	24
VI 総 括	25
参 考 資 料	27

I 指導班派遣の概要

1. コースの概要

農林水産統計コースは昭和42年に第1回が実施され、その後44年から57年に至るまで毎年開催され、57年度で第15回を数えるにいたった。

本コースは主に各国の政府職員で農林水産統計作成の企画業務に従事する者を対象として、農林統計調査の基礎知識を修得させると同時に、我国における農林統計作成の現状を紹介するため、各地での実地研修を実施し、我国にて作成されている農林統計の作成趣旨、具体的な作成手続きを理解させる事に重点をおいている。

講義は行政管理庁、農林水産省統計情報部職員を講師として行なわれ、講義による理論のみならず、現実に根ざした農林統計理論の紹介のため、日本各地で種々の営農形態の農家を訪問しての実習による応用にも力が入られている。

研修期間は毎年8月から10月までの3ヶ月で、現在までの参加総数は33ヶ国 — 197名となっている。(今回訪問のパキスタン、スリ・ランカの帰国研修員数はそれぞれ13名、11名となっている。)

2. 派遣目的

本巡回指導班派遣の目的は帰国研修員に対するフォローアップ事業の一環として、今回は帰国研修員の多いパキスタンとスリ・ランカの2ヶ国を選び、両国の帰国研修員及びその所属省庁及び技術協力窓口機関を訪問した。指導班の主な目的は下記のとおりである。

- 1) 本コースは昭和42年以降15回にわたり開催され、33ヶ国197名を受入れている。第1回開催以降各国の農林統計事業にかなりの変化があると考えられるが、本コースの研修内容が、当該国の例として選ばれた両国の現状に即応しているかどうか、又、将来の本コースの研修効果の充実を図るため、関係者の要望・意見を聴取する。
- 2) 研修員帰国後における我国農林情勢の変化と今日の問題点について紹介する。
- 3) 帰国研修員が母国においてたずさわっている農林統計業務においての問題点を調査するとともに、その改善法を助言し、適切な対処の方法について紹介する。

3. 指導班の構成

団 長・総 括

農林水産省経済局統計情報部

企画情報課 数理官

高 津 順 吉

技術指導・調査

農林水産省経済局統計情報部
 経済統計課 農業所得統計係長 石 戸 誠
 業 務 調 整
 国際協力事業団研修事業部
 研修第一課 稲 葉 誠

4. 派遣国および派遣期間

派 遣 国 パキスタン, スリ・ランカ

派 遣 期 間 昭和58年2月24日～昭和58年3月11日(16日間)

5. 行程及び指導 調査内容

日順	月日	曜日	行 程	指 導 ・ 調 査 内 容 等
1	2月 24日	木	TOKYO 15:45 → KARACHI 00:30 LH641	
2	25日	金	KARACHI 07:00 → RAWALP I NDI 08:50 PK300 RAWARPINDI → ISLAMABAD	
3	26日	土	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本大使館表敬 ○ 食糧農業省表敬 ○ 経済省 Economic Affairs Division 表敬 ○ 帰国研修員面談 	大島書記官らとスケジュール打合せ パキスタン農業事情随取(出席者リスト①) 帰国研修員動向及び本コースへの要望調査(出席者リス ト②) MR. MASOOD-UL-HASSAN 面談 研修効果測定 MR. AMIR JAN KHAN ♪
4	27日	日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連邦統計局イスラマバード事務所 表敬 ○ Barami 農業大学見学 ○ Barami Farm 訪問 ○ 国立農業研究所訪問 ○ 帰国研修員面談 	パキスタン統計事情概略調査MR. AFTAV AHMED DEPUTY PIRECTOR 表敬 イスラマバード効外半乾燥地農業視察 DR. MUHAMMAD KHAN 学長面談 パキスタン農業研究事情視察 DR. SANDU 所長訪問 MR. SADRUL WAHEED RIZUI } 面談 MR. NOOR AHMED RHAN }
5	28日	月	○ セ ミ ナ ー	近年の日本の経済状況(講義) 坪刈り調査及び農林統計官の業務(フィルム) (出席者リスト③)

日順	月日	曜日	行 程	指 導 ・ 調 査 内 容 等
6	8月 1日	火	○日本大使館表敬 資料整理 RAWALPINDI 19:00 → KARACHI 20:55 PX309	
7	2日	水	○総領事館表敬, 打合せ ○連邦統計局訪問 帰国研修員面談 ○シンド州統計局訪問 帰国研修員面談	パキスタンの統計事情調査(出席者リスト④) MR. AS FAR HUSSAIN SIDDIQUI 面談 地方自治体の統計事情調査 MR. M. YAHYA INALIU LLAH 統計局長訪問 MR. MANZOOR AHMED HASHIMI } 面談 MR. ABOULLAH SOOMRD SOOMRO }
8	3日	木	KARACHI 06:45 → COLMBO 10:45 PK774 ○JICA コロンボ事務所訪問 ○日本大使館表敬	スケジュール調整・打合せ
9	4日	金	○コロンボプラン事務局表敬 ○経済企画省 Dept. of External Resources 表敬 ○農業開発研究省農業局表敬 ○センサス統計局訪問	DR. MAHSUZUL HVQ, CHIEF ECONOMIC ADVISER 面談 研修員受入れに関する要望調査, 本コースへの要望調査 MRS. AMARASEKERA, DEPUTY DIRECTOR 面談 農業局統計課の役割調査 MR. K. P. SILVA STATISTICIAN 面談 スリ・ランカ統計事情調査, 帰国研修員面談(出席者リスト⑤)
10	5日	土	資 料 整 理	
11	6日	日	COLOMBO → KANDY	中部農村地区一般農業事情視察
12	7日	月	ペラデニア農業統計事務所見学 Bulumulla 村訪問 Janatha 地区開発公社茶畑見学 KANDY → COLOMBO	地方事務所の役割調査 坪刈調査の実際を見学 茶栽培見学
13	8日	火	セミナー及び懇談会	日本の統計事情紹介(講義) 日本の坪刈り調査及び統計官の役割について紹介(フィルム) スリ・ランカ及び日本の坪刈り調査及び相互の統計につ いて懇談(出席者リスト⑥)
14	9日	水	資 料 整 理	
15	10日	木	COLOMBO 8:00 → BANGKOK 12:45 UL422	
16	11日	金	BANGKOG 11:30 → HONGKONG CX750 → TOKYO 21:15 CX500	

6. 農林水産統計コース国別年度別参加者人数

	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	計
アジア																	
インドネシア	1		2	1	1	2	2		1	2	2	2	2	2	2	1	28
フィリピン	1		1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1	2	2	1	22
タイ	2		1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	22
パキスタン			2	1			1	1		1	2	1	2		2	1	18
マレーシア	2		1			1			2	2		1		1	1		11
スリ・ランカ			1	1	1	1			1	2	1	1	1	1			11
ネパール	1		1	1		1	1		1	1	1	1			1	1	11
バングラデシュ							1	1		2		1	2		1	1	9
大韓民国	1									1						1	8
インド	1					1			1	1		1					5
ビルマ											1	1	1	1			4
ラオス					1		1			2							4
	シンガポール 1		中東 1+3(GG) 1	シンガポール 1	クメール 1		クメール 1		クメール 1				ブータン 1				12
アフリカ中近東																	
イラン				1		1	1	1			1					1	6
エジプト								1		1	1					2	5
タンザニア					1					1		1			2		3
トルコ														1			3
					エチオピア 1			エチオピア 1	リビア 1				リビア 1	ガーナ 1		ガーナ 1	10
				スーダン 1									ガーナ 1		スーダン 1		
															ジンバブエ 1		
中南米																	
ブラジル											1	1	1	2	1	2	8
											コロンビア 1		パラグアイ 1	メキシコ 1			7
													アルゼンチン 1	アルゼンチン 1			
													ペルー 1				
													チリ 1				
計	10		19	9	10	11	9	8	10	21	18	14	15	18	14	16	197

農 業
センサス
コ ー ス

水 産
統 計
コ ー ス

出席者 (面談者リスト)

(1) MEMBERS OF MEETING

DATE: FEB. 26, 1983

9:00 a.m. - 10:15 a.m.

PLACE: Ministry of Food & Agriculture

NAME	TITLE	NAME OF FIRM/ORGANIZATION
Dr. Masuda Aktoar	Economic Consultant	Ministry of Food & Agriculture
Mr. Aslam Jafri	Deputy Agriculture Commissioner	do

(2) MEMBERS OF MEETING

DATE: FEB. 26, 1983

13:00 - 14.30

PLACE: Economic Affairs Division
Ministry of Economics

NAME	TITLE	NAME OF FIRM/ORGANIZATION
Mr. Syed Osman Sher	Deputy Chief of Division	Economic Affairs Division
Mr. T. Ahmed	Unit Chief	do

(3) MEMBERS OF MEETING

DATE: FEB. 28, 1983

10:00 a.m. - 12.30 a.m.

PLACE: Islamabad Hotel Meeting Room

NAME	TITLE	NAME OF FIRM/ORGANIZATION
Mr. Afsar H. Siddiqui	Chief Statistical Officer	Federal Bureau of Statistics, Karachi
Mr. Masoodul Hasan	Research Officer	Ministry of Food & Agriculture, Planning unit, Islamabad
Mr. Bashir Ammad	Statistical Officer	Planning Unit, Ministry of Food & Agriculture
Mr. Bushis Ahmad Malvi	Keseavea Officer	Ministry of Food & Agriculture, Planning Unit
Mr. Syed Waizuddin	Research Investigator	Ministry of Food & Agriculture, Planning Unit
Mr. Nasrullah Khan Abhagi	Statistical Officer	Ministry of Food & Agriculture, Planning Unit
Mr. Abdul Shahoor	Lecturer	Bayani Agriculture College, Fawalpindi
Mr. Tajm Skah	Statistical Officer	Ministry of Food & Agriculture, Planning Unit, Islamabad
Mrs. Mamta Oursl	Research Officer	Ministry of Food & Agriculture, Planning Unit, Islamabad
Mr. Syed Ah. Kanel Sid	Deputy Director	Ministry of Food & Agriculture, Planning Unit, Islamabad
Mr. Wabeed Rizvi	Research Officer	Planning Division, Agriculture & Food Section
Mr. Amir Jan Khan	Deputy Census Commissioner	Population Census Organization

(4) MEMBERS OF MEETING

DATE: MARCH 2, 1983

9:00 a.m. - 10:30 a.m.

PLACE: Federal Bureau of Statistics

NAME	TITLE	NAME OF FIRM/ORGANIZATION
Dr. Nasim M. Sadiq	Director General	Federal Bureau of Statistics
Mr. S. M. Ishaque	Deputy Director General	- do -
Mr. Assar H. Siddiqui	Chief Statistical Officer	- do -

(5) MEMBERS OF MEETING

DATE: MARCH 4, 1983

14:00 - 17:00

PLACE: Department of Census and
Statistics

NAME	TITLE	NAME OF FIRM/ORGANIZATION
Mr. A.A.D.C. Yasasiri	Deputy Director	Department of Census and Statistics
Mr. Jayasingh	Assistant Director	Department of Census and Statistics
Mr. C. N. Galahitiyawa	Statistician	Department of Census and Statistics
Mrs. A. P. De Silva	Statistician	Department of Census and Statistics
Mr. A. M. U. Dissanayaka	Statistician	Department of Census and Statistics
Mr. P. V. C. Perera	Statistician	Department of Census and Statistics

(6) MEMBERS OF MEETING

DATE: MARCH 8, 1983

10:00 - 16:00

PLACE: JICA Colombo Office

NAME	TITLE	NAME OF FIRM/ORGANIZATION
Mr. C. N. Galahitiyawa	Statistician	Department of Census and Statistics, P. O. Box 563 Colombo Sri Lanka
Mrs. A. P. De Silva	Statistician	Department of Census and Statistics, P. O. Box 563 Colombo Sri Lanka
Mr. A. M. U. Dissanayaka	Statistician	Department of Census and Statistics, P. O. Box 563 Colombo 7 Sri Lanka
Mr. P. V. C. Perera	Statistician	Department of Census and Statistics, P. O. Box 563 Colombo Sri Lanka

II 帰国研修員の動向に関する調査結果

面談を予定した帰国研修員はパキスタン13人、スリ・ランカ11人であったが、このうち面談できた帰国研修員は、パキスタン7人、スリ・ランカ6人であった。この他の帰国研修員については、長期休暇（パキスタン2人）、所在不明（パキスタン3人）、退職（スリ・ランカ1人）その他の事情で会うことができなかったが、出発前の予想を上回る研修員と面談することができた。また、表敬先において多くのスタッフと面会することができたことも、今回のフォローアップにとって幸いであった。

以下、こうした方々から得た建設的な意見や帰国研修員に対して実施したアンケート調査結果並びに現地視察によって得た統計事情等を要約し、併せて若干の所見を付記しておくこととする。

1. 帰国研修員の実態

現在、農機統計コースに参加された研修員の殆んどは、諸統計機関のヘッド・クォーターに所属しており、中堅・幹部職員として活躍しておられた。

パキスタンの場合についてみると、本研修に参加される前は統計官、課長補佐などであった職員が、今日、局長、その代理、首席統計官、課長などの要職に就かれていますかたが少なくなかった。また、スリ・ランカについては、研修参加時は殆んどが統計官補（Statistical Officer）であった方々が、現在、統計官（Statistician）として活躍されているケースが多い。

このように、研修に参加された方々が帰国後、諸統計機関で活躍されている実態は力強いかぎりであった。

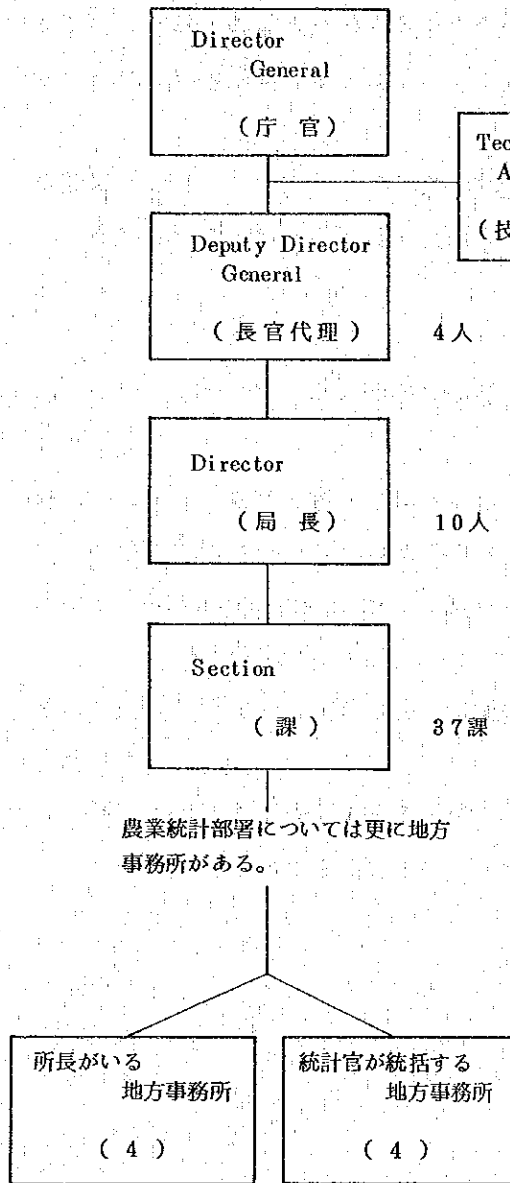
なお、スリ・ランカ センサス統計局・局長代理 Mr. A.A. DC. YASASIRI によれば、本コースに参加した帰国研修員は全員1号俸、特昇（俸給）させているとのことであった。

統計機関の職制

〈パキスタン〉

Federal Bureau of Statistics

(連邦統計局の場合)

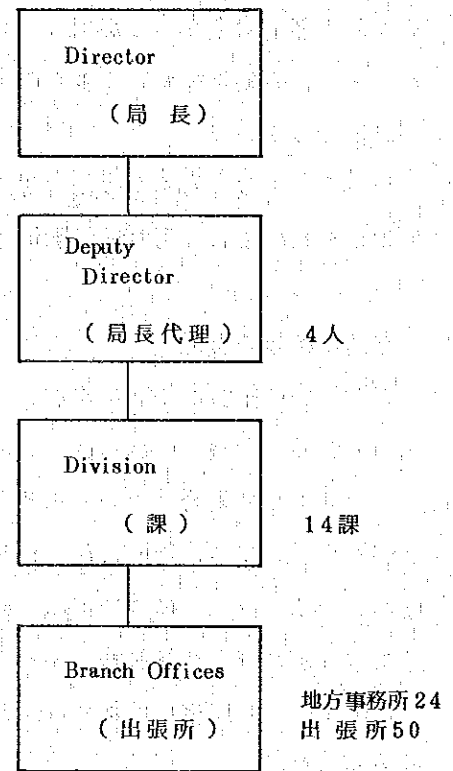


統計官は各課, 所長のいる地方事務所に平均して1~3名が配置されている。

〈スリ・ランカ〉

Department of Census & Statistics

(センサス統計局の場合)



統計官, 統計官補は各課に配置されている。

2. 農林統計研修に対する帰国研修員の意向

(1) 研修のカリキュラム

ア. 効果的であった研修科目

(ア) 現地研修によって、農家を訪問したり、実際の調査方法、現場で受けたレクチャーなどが、帰国後、特に役に立っているという意見が強い。

(イ) 個々の研修科目については、①サンプリングの方法②センサス③作物統計など、自国で実施している統計（基礎統計）についての講義が好評を得ている。

(ウ) また、農業経済調査については両国とも本格的には実施されていない（生産費調査は推計方式を取り入れ、一部実施されている。）が必要性の強い教科であるといった意見が強く聞かれた。

イ. 自己の業務への応用

(ア) パキスタンでは、①政府（Province of N. W. F. P）の被害調査に日本の調査技術が導入されている。②農畜産物生産費調査の推計方法に、日本の生産費調査の考え方が反映されている。③クロープ・カッティングサーベイや土地利用調査に研修で学んだ技術を導入したが、以前より良い結果が得られるようになったなど、具体的な事例がみられる。

(イ) また、具体的には表れないが、調査票作成の考え方、サンプル抽出の方法、調査員を指導する場合、農業研究の課題設定など、それぞれ工夫しつつ自己の業務に部分的ながら応用している実態を聞くことができ、大変嬉しく思った。

(2) 研修についての要望

ア. 研修期間について

(ア) 研修期間についてはパキスタンとスリ・ランカでは考え方に大きな違いがあった。

(イ) 即ち、パキスタンの帰国研修員は、研修期間は「6か月（5～6月から11月頃まで）必要である。」という意見が大勢であったのに対し、スリ・ランカの帰国研修員の声は、「3か月以上に延長した方がよい」といった控えめなものであった。ただし、一部の研修員から、そのうちの1か月以上は具体的な統計技術（実践を踏まえた）研修が必要であるという意見が寄せられた。

イ. 研修員の数について

研修員の規模についての考えは様々であったが、①もっと増加すべきである。②10～15人が適正である、といった意見が多かった。ちなみに、57年度の研修員は16人であったから、現行の人員規模はほぼ適正であると思料される。

ウ. 研修内容について

(ア) パキスタンの帰国研修員からは①現地研修は農業（統計）のいろんな分野について見聞することができるので強化すべきである。②また、具体的な要望として、サンプルサー

ベいの理論，農業資材利用調査，農業労働力（賃金）調査，流通調査，作物収量調査など，今後開発又は拡充すべき開連統計について，解説を求める声が強くみられた。

(イ) 一方，スリ・ランカの研修員からは，①サンプリングの具体的な方法②データプロセッシング③グラフィックの方法などについての要望があったが，大半の研修員は，現行の教科でよいとみているようであった。

(3) 研修科目の評価

ア. パキスタン

A 特に重要
B あまり重要でない
C 重要でない

レクチャー	必要度区分	時間	備考
サンプルサーベイの方法	A	2時間～2週	統計理論を含めるべきである。
電算機利用	A	2時間～1週	農業統計全般について実践的に。
農林業センサス	A	2時間～2週	重要であるが時間が短かすぎる。
農業動態調査	A	2時間～1週	〃
畜産統計	B	2～4時間	大変難解であるのもっと平易に。
世界農林業センサス	A	2～5時間	包括的，実践的に。
林業統計	B～C	2～3時間	自国では関心が薄いので紹介程度でよい。
農家経済調査	B	2時間～2週	大変興味ある調査であるが，時間が十分でない。
農産物生産費調査	A	2時間～1週	かなり難しいので1日がかかりで平易に。
畜産物生産費調査	B	2時間～1週	〃
作物統計調査	A	3時間～1週	大変重要であるので，現地研修を増やす。
農村物価賃金調査	B	2時間～1週	時間が短かすぎる。
園芸統計	B	〃	

パキスタンの帰国研修員からは実践的な講義とグループディスカッションを望む声が強かった。

イ、スリ・ランカ

レクチャー	必要度 区分	時 間	備 考
サンプルサーベイの方法	A	5～10時間	
電算機利用	B	2～4時間	
農林業センサス	A	5 時間	林業についても分かりやすく。
農業動態調査	A	3～5時間	もっと時間を増やすべきである。
畜産統計	A・C	2～4時間	〃
世界農林業センサス	A・B	2～5時間	
林業統計	B	1～2時間	
農家経済調査	A	4～5時間	もっと時間を増やすべきである。
農産物生産費調査	A	3 時間	〃
畜産物生産費調査	A・B	1～3時間	〃
作物統計調査	A	4～5時間	〃
農村物価賃金調査	A	1～3時間	〃
園芸統計	B	1～3時間	〃

(4) 現地研修について

現地研修の強化を求める声はパキスタン、スリ・ランカ共に強いものがあった。

それは主に、

- ① 農家や現地を見ることによって、農業と統計のリレーションシップがよく分かる。
- ② レクチャーの結果が実践を通して深く理解できる。

等の理由によるものであるが、現地研修は英語力のあるハイ・オフィサーの案内を望む声が強かった。

(5) 言葉の問題

レクチャーは講師が英語で行うよう強い要望があった。特にパキスタンの研修員は英語が堪能であるだけに、こうした意見が強かった。

一方、スリ・ランカの帰国研修員からは、英語による講義がベターであるが、通訳による講義でも差支えないといった声も多く、両国の言葉に対する反応の度合いはかなり対照的であった。

3. 自己の業務に係わる統計方法論的諸問題

帰国研修員が自身の統計業務遂行に当たって当面している諸問題は何であるか質ねたが、大小多くの問題が返ってきた。主要なものを列記すれば

- ① 人口統計のデータ加工，解析のためのノウ・ハウが不足している。
- ② 農畜産物生産費推計の開発，そのデータ収集の方法が確立されていない。
- ③ 地域開発推進のために有能な統計官を必要としているが，その訓練と確保。
- ④ サンプルデザインの方法確立。
- ⑤ 電算システム設計，データ処理の実践的ノウ・ハウ。
- ⑥ センサス・アトラス作成の技法。

など，どちらかと言えば調査方法上の問題よりもデータ処理，分析といったいわば統計処理技術に問題が集中しているように思われた。今後カリキュラムを編成する場合に一考する必要がある。

4. 研修の成果

多くの帰国研修員に面談し，かつアンケートから得た研修の成果を要約すると，まず，①日本の統計技術研修が，帰国研修員の能力開発に大きく貢献していること，次に②その結果が，実務に生かされ，統計方法の開発，改善に寄与しているなど，評価を得る声は様々な形で聞くことができた。また，帰国研修員の成果に対する考えは，統計手法だけにとどまるものではなく，現地研修などで見聞 或は経験した農業生産の実態（技術），例えば土地利用の方法，肥培管理，機械利用，水利などが，企画設計の場などに形を変えて生かされていることが多いという。

研修を計画する場合，こうした効果にも十分配慮される必要がある。

5. JICA 農林水産省に対する要望

(1) JICA に対して

ア. パキスタン

- (ア) 研修は一般コースと上級コース（専門コース）に分けることができないか。
- (イ) 研修終了後一定の資格取得証書を発給されたい。
- (ウ) 実習等の拡充のため，現地研修の回数を更に増加されたい。

イ. スリ・ランカ

農林統計コースに水産統計も含め実施願いたい。

(2) 農林水産省に対して

ア. パキスタン

- (ア) 研修参加資格の年齢制限（現在40歳）を引き上げられたい。
- (イ) 上級クラス用テキストを作成配布願いたい。

(ウ) 講義は上級職員によって英語で行われるのが望ましい

イ. スリ・ランカ

研修科目にグラフィックの手法を盛り込まれたい。

などの要請が出された。

Ⅲ セミナーの開催

セミナーは、帰国研修員に対して最新の情報を提供する目的で、①最近の日本経済と農業経済の動向（特徴）についてレクチャーし、研修後の日本の経済事情を紹介したあと、映画「若い土」（農林水産省統計情報部編）を上映し、地方統計職員の日常活動、作物調査の統計的方法など、調査の実務面を紹介した。

1. セミナーの対象

セミナーは、帰国研修員全員と表敬先の招待職員を対象にパキスタン、スリ・ランカ両国で各1回実施した。

2. 会場及び時間

パキスタン： ホテルイスラマバード会議室 10～14時

スリ・ランカ： JICA コロンボ事務所会議室 10～13時

3. 参加人員

パキスタン： 帰国研修員 4人 表敬先職員 9人 日本大使館書記官 1人

スリ・ランカ： 帰国研修員 5人 JICA職員 2人

4. セミナー次第

(1) レクチャー

セミナー用資料（Statistic of Agriculture Forestry & Fisheries）をもとに行った。

主な内容は、

ア. 日本のGNP

イ. 鉱工業生産

ウ. 農業生産

エ. 農村物価

オ. 農業産出額

カ. 農家経済

について、最近の動向（特徴）を解説した。

(2) フィルム「若い土」の上映

レクチャーのあと、フィルムのストーリー及び日本の作物収量調査（Crop Cutting Servey）の方法について、あらかじめ概要を説明し、そのうえで上映した。

(註) フィルム「若い土」は、昭和58年1月16日(日)にフジテレビをキーステーションとして全国31局のネットワークを通じて放送したものである。

フィルムは、農林水産省次城統計情報事務所竜ヶ崎出張所を舞台に日常の調査活動(農家訪問、収量調査、分析、公表等)の実態を紹介しつつ、統計が農家はもとより、地域住民、地方行政に果たしている役割などを解説したドキュメントである。

5. 質疑討論の概要

セミナーでは、同時にディスカッションを行った。

- (1) まず、パキスタンでは、経済成長の測定に関心が寄せられ、①GNPの内訳項目(民間最終消費支出、住宅投資、設備投資、在庫、政府支出、公的資本形成、輸出入)の基本的な推計方法や②作物収量調査についての方法論及び統計精度(ナショナルベース、圃場ベース)などについて説明を求められ、活発な討論が行われた。
- (2) 一方、スリ・ランカでは、パキスタンの場合と同様に①作物収量調査の方法に関心が寄せられた。②また、農業センサス結果の分析方法(特にセンサスアトラスの作成)について説明を求められた。

(3) セミナー運営についての所見

ア. セミナーを持つに当たって、帰国研修員のアフターケアに対するニーズを事前に把握しておかなかったこともあり、一方的にレクチャーしたきらいがあった。このため、特にパキスタンの帰国研修員から「一般情勢よりも農業の最新技術や統計方法論についての説明が欲しかった。」といった不満の意が聞かれた。この点は反省させられる。

イ. 今回のセミナーを通して見て、この試みは、その方法いかんによってかなりの効果が期待できるものと思われた。日本で研修された研修事項を業務の面に具体化するに当たっての問題や新調査開発に当たっての統計的方法論、データ分析についての視点など、セミナーでフォローアップできる部分もかなりあると判断されるからである。

ウ. ただし、こうした要請に確実に応えるためには、事前に助言すべき点を把握しておくことが大事である。その課題を中心にセミナー、討論会をもち、かつ助言することができれば、開催の意義は非常に大きいものがあると思われる。

IV 統計機構と統計作成の周辺事情

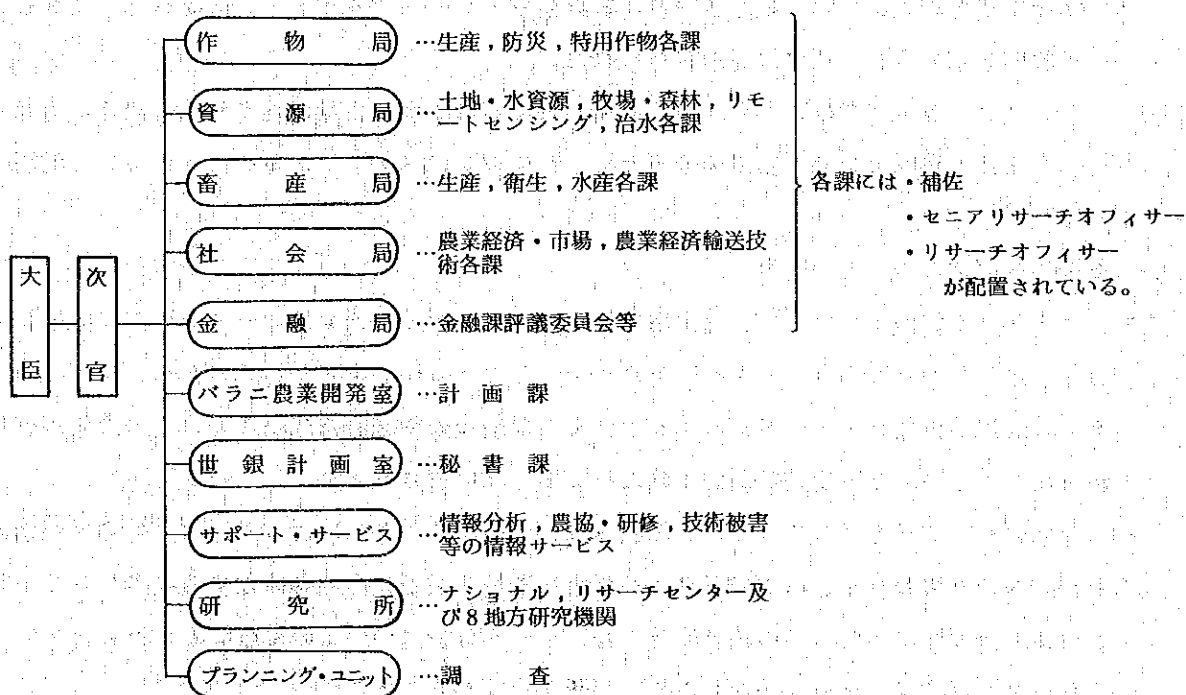
1. パキスタン

日本の統計機構は、各省ごとの縦割りの機構になっているが、パキスタンでは各省庁の統計部門と連邦統計局間で各種の統計が作成されている。

なお、ここで述べる統計機構は全体のチャートを十分に調査したものではなく表敬先ならびに帰国研修員から聴取した範囲のもので、やや断片的な部分があることをお断りしておきたい。

(1) 食料農業省

食料農業省の機構は、下図のように5局、2つのプロジェクト、研究所、サポートサービス（情報分析、農協、研修、技術、被害等の情報）の各部局から構成されている。



このうち、調査を実施しているのはプランニングユニットとよばれるセクションである。主要業務は、調査計画の立案、調査の実施、データ分析、データ処理についての調査員への説明、報告書の作成などである。

また、このプランニングユニットは地方組織（各プロビンス）を有しており、

- ① 農業生産についての情報
- ② 主要農作物の単位（1 ha）当たり産出量
- ③ 土地利用の実態
- ④ 満水地面積
- ⑤ 経営費

- ⑥ 機械化の動向
- ⑦ 畜産
- ⑧ 漁業
- ⑨ 林業

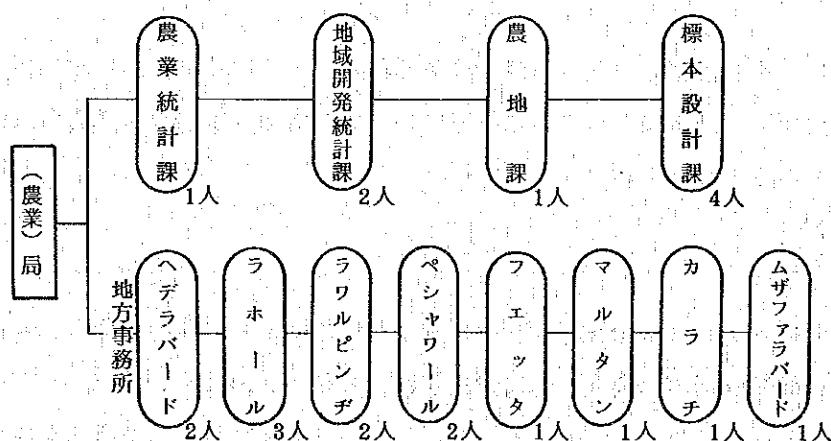
その他トピック調査など、農林漁業の基礎的な事項について調査を実施している。

また、地域を指定して農業にかかわる情報を収集しているが、これらの中に経営調査、生産費調査、農民の資源利用に関する効果測定、主要作物の生産費の推計等がある。

(2) 統計庁

ア. 統計庁は10局37課8地方事務所から構成されている。この組織は、農業、通商、鉱工業、社会労働、建設、サービス、国民経済など各分野の統計セクションがあり、また、データプロセッシングの部局をもつ総合統計センターとなっている

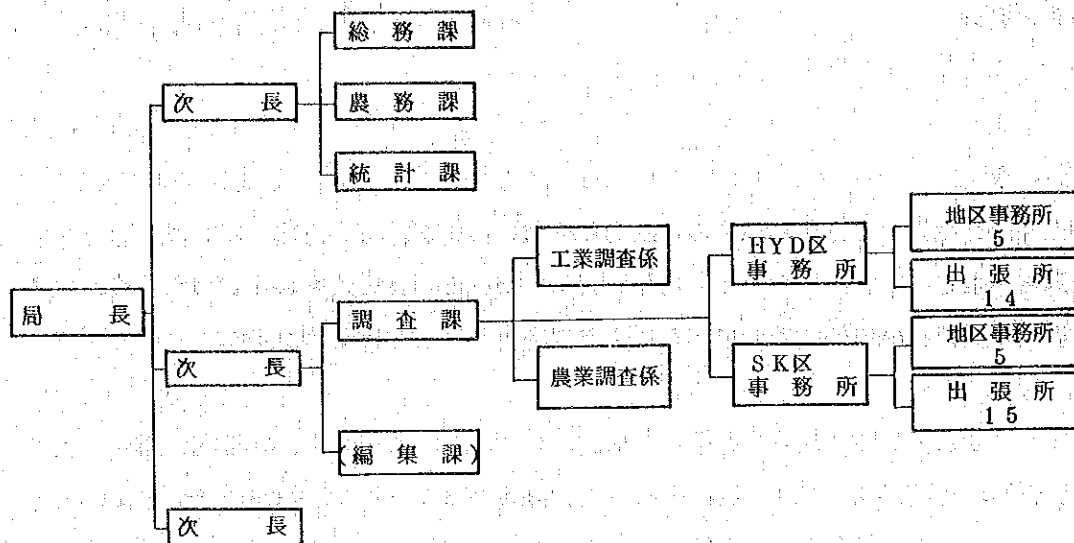
うち、特に農業統計に関するセクションの組織体系については次のように整備されている。



(注) 人数は Statistical Officer の数を示す。

イ. また、各州には統計局が設置されており、管区内の全分野についての統計を作成しているが、調査は下部組織の調査事務所 (Field Offices) が担当している。

シンド州の場合についてみると、調査は調査課 (Field Operation Section) が実施している。職員配置は工業調査係に統計官が5人、統計調査員が1人、また、農業調査係には統計官が1人、その補佐1人が配置されている。



(3) 政策課題と統計

ア. パキスタンでは、現在畜産の生産が重要な政策課題となっている。一つは農業所得の増加、もう一つは、国民所得の増加に伴って、動物蛋白の摂取を増加させ栄養水準を上げさせる必要があるためである。このため、

- ① 畜産頭数調査
- ② 畜産物生産量調査

が実施されている。これらの統計はサンプルサーベイによって周期的に作成されている。

イ. また最近では地域開発計画の重要性が特に強調されており、そのため、農家及び一般世帯を含めた詳細なデータが必要になっている。パキスタンでは農家数、土地所有規模、作物播種面積、耕地面積、作物別施肥量、家畜頭数、土地をもたない農業労働者等の農業データがあるが、これらは10年ごとの農業センサス結果である。いま要求されているのはもっと短期の詳細な情報である。このため、1983年からの5年間に次の農業経済調査が計画されている。

- ① 地域別の肥料の利用 (年2回)
- ② 農村の農業物資の利用動向 (5年に1回)
- ③ 農家の輪作形態 (5年に1回)
- ④ 農村地域における非土地所有農村労働者 (5年に1回)
- ⑤ " " の賃金 (年2回)

これらの調査は、層化抽出された約10,000世帯について実施されている。

ウ. 内閣経済委員会 (ECC) と国家統計評議会 (National Statistical Council) は重要作物の収量調査 (Crop Cutting Survey) を統計庁の主導のもとに実施されるよう

報告された。統計庁は1979年から小麦と綿についてパンジャブ、シンド両州において調査を実施することとなった。この調査は将来は系統だった基本統計になるといわれる。また、NWFP州やバルチスタン州では調査の拡大が計画され、米、さとうきび、メイズ、ばれいしょ、たまねぎなど18種の重要作物について実施されることとなった。同時にスタッフの拡充も図られる。

エ. こうしたサンプルサーベイを担当している統計官（統計官、統計調査員、統計補助員）は次のように配置されている。

統計官の配置

(1983~84年)

	畜産物調査	農業経済調査	作物収量調査
企画設計部門			
主席統計官		1	
統計官	1	3	1
統計調査員	2	20	3
統計官補	1	2	2
その他		6	
現地スタッフ			
統計官	1 (3)	2	2
統計調査員	3 (25)	25	15
統計官補	20 (150)	150	75
その他			4

(注) ()は1984~85年の計画増員

2. スリ・ランカ

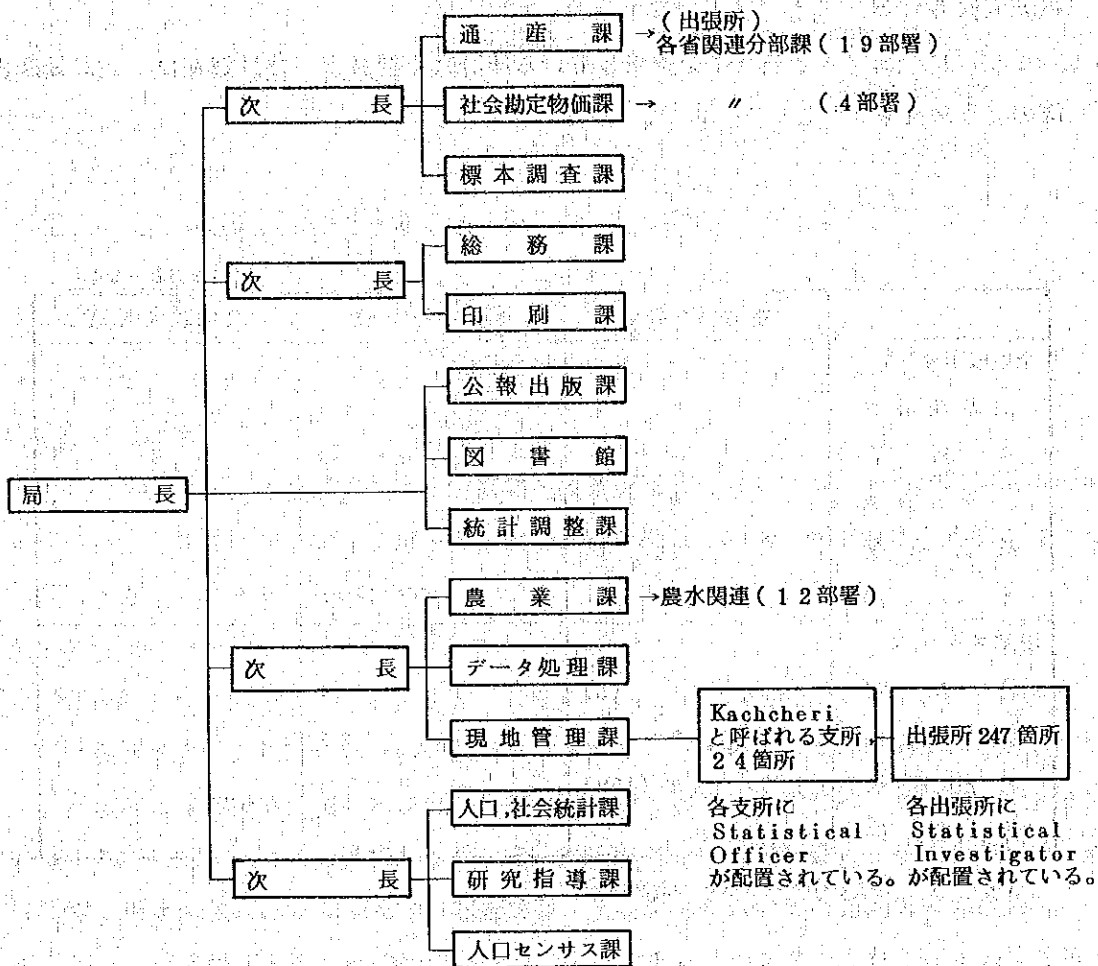
スリ・ランカの統計機構も組織体系の大枠はパキスタンと共通したところが多く、統計調査はすべてセンサス統計局のもとに実施されている。

(1) 農業開発研究省

当省には農業局統計課があるが、当課は調査企画部門ではなく、センサス統計局によつて調査されたデータのうち、農業に関するデータを政策の要望に応じて編集することと月報、年報等の出版が主務となっている。電算処理され、編集される統計は耕地面積、作物統計、ゴム統計、ココナッツ統計、食料需給表、高地作物統計、生産物価格統計、農業生産指数、農業センサス等である。

(2) センサス統計局

ア、センサス統計局は14課から組織され、各課に統計官(Statistician)及び統計官補(Statistical Officer)が配置されている。調査は工業運輸部門は関連機関の部署、農業調査は農業課、現地管理課等によって、とり行われる。



イ、農業課では、農業統計に関する収集、計算、分析(推計)が行われている、統計調査は農業センサス(資源統計)を始め、作物収量調査、物価調査、漁業調査など基礎統計を主体として実施されている。また、主要作物の生産費推計、食料需給表(栄養計算)などの分析、加工統計もある。

<主要統計>

(ア) 基礎統計

- 農業センサス
- 耕地面積統計
- 作物統計

- 畜産統計
- 水産統計等

(イ) 経済統計

- 農業労働力，賃金統計
- 農産物価格統計
- 農業生産資材価格統計等

(ウ) 推計・加工統計

- 農産物生産費
- 食料需給表（栄養統計等）
- 農業産出額 等

V 現地視察に関する若干の考察

このフォローアップは、帰国研修員の実態を調査することはもちろん、統計の組織機構や農業の実態をつぶらに視察することも重要な課題であった。

その国の統計の実相を理解するためには、人、機構、農業、それぞれの態様を認識することが不可欠と考えられるからである。

1. パキスタンでは、バラニファーム、ナショナルリサーチセンターなどの農場、試験研究機関を訪問することができ、パキスタン農業の一面を伺い知ることができたが、穀倉地帯のパンジャブに足を運ぶことができなかつたのは残念であった。

経済5カ年計画の中で、統計の整備も重要な課題となっていると聞かされた。農業統計の整備が今後大きく進むことであろう。この国の農業統計は少なくとも基礎統計のワク組みはできていると判断される。問題は経済統計の拡充整備についてであるが、農家の識字率がきわめて低いと言われるこの国にとって、記帳協力を得ることは極めて困難であろう。既に農畜産物生産費の計算には推計方式が取り入れられていたが、こうした推計技術の開発が、この国の農業経済統計にとって重要であることを痛感させられた。

2. スリ・ランカではキャンディを中心に稲作の実態、ココナツ栽培、茶栽培・加工場等を視察することができた。なかでも、圃場において稲の収量調査 (Cropcutting Servey) の現場に立ち合うことができたことは幸いであった。収量調査はランダムサンプリングによるものであったが、

- ① 調査点の決め方
- ② 刈り取り範囲の線引き
- ③ もみ選別の方法
- ④ 計量の方法

など、統計精度向上のうえから改善すべき点は多いが、スリ・ランカ農業の実情と統計技法のかかわり、その一端を体験することができたことは、今後、農業統計の指導、を行なううえで、貴重な経験となった。

Ⅶ 総 括

今回、我々農林水産統計コース帰国研修員巡回指導班は、パキスタン、スリランカの両国を訪問した。その目的は主として両国の帰国研修員に対する現地での技術指導を行うとともに、彼等が農林水産統計に関して抱えている技術的問題点及びニーズを把握してそれを今後の本コースの研修計画に反映させることにある。

派遣の成果を要約すれば以下のとおりである。

- 面接した帰国研修員の殆んどは研修によって得た知識をなんらかの形で実務に生かしており、実際の統計調査に適用している例も見られた。(被害調査、坪刈調査など)
- このコースの研修の実施については、面談したすべてが強い関心を示した。

ただ、スリ・ランカについては、アジア統計研修所(SIAP)の研修との関連で、この1～2年派遣されなかったが、今後は毎年参加させたいと積極的であった。

- 研修内容について色々と要望があり、特に現地研修や討論の時間の増加を望む声が強かった。
- 両国の農林水産統計は主として報告員の報告に基づく生産量統計であるが、最近は行政上の必要性などから、より信頼性の高い統計が要望されるようになり、実測調査が導入されつつある。また、2～3の主要農産物(パキスタン、スリ・ランカ)及び畜産物(パキスタン)について生産費統計を作成している。
- 巡回指導は面談及びセミナー等を通じて行なわれたが、これにより帰国研修員等に新しい技術情報をもたらすとともに、彼等の疑問にも答え得た。
- 今後の研修のあり方については、研修計画の作成時に、発展途上国の農林統計の実情、及び背景をふまえた上で、可能な限り研修員のニーズ(例えば現地研修・討論時間の増大、標本調査法、実測調査法の研修の充実等)に応えるべく計画をたてるべきと考えられる。

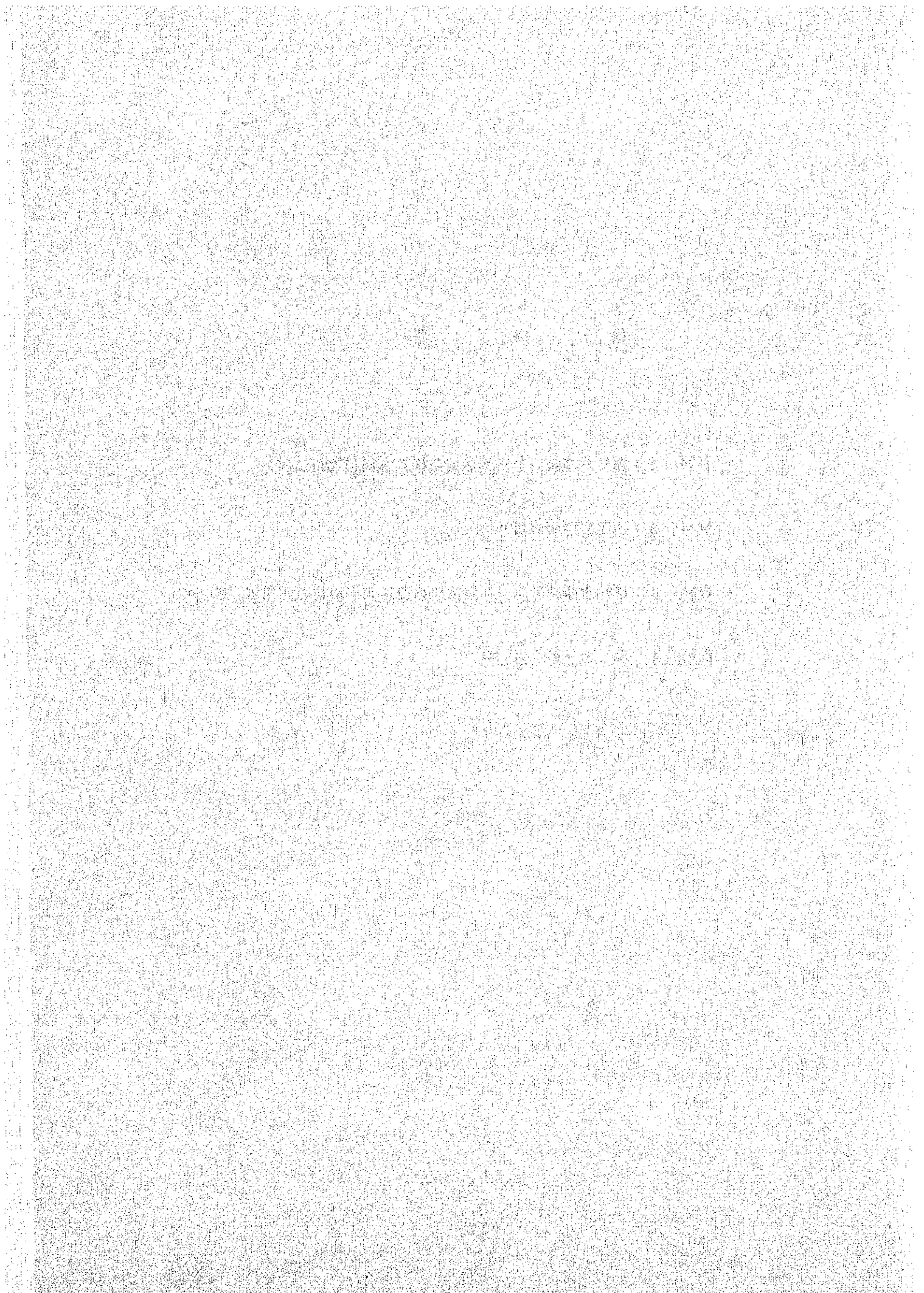
参 考 資 料

資料－1：農林水産統計コース帰国研修員巡回指導班訪問地

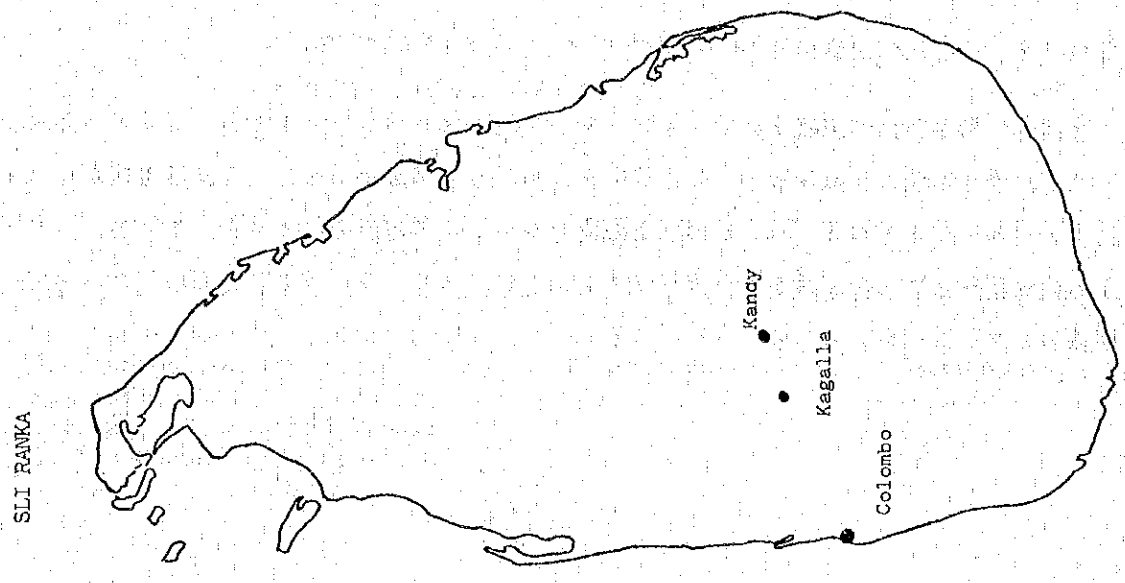
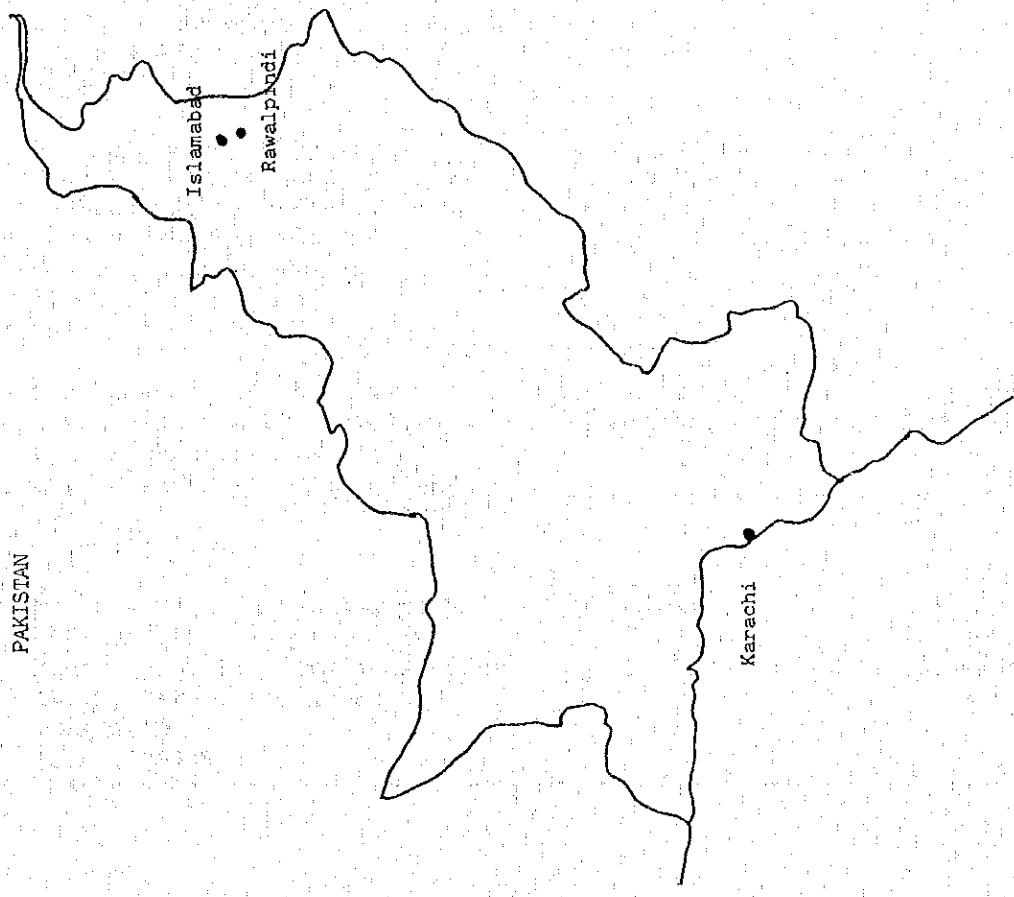
資料－2：追跡帰国研修員リスト

資料－3：農林水産統計コース帰国研修員巡回指導班質問用紙

資料－4：現 地 報 告 書



資料一 1 農林水産統計コース帰国研修員巡回指導班訪問地



資料-2 追跡帰国研修員リスト

今回巡回指導班は帰国研修員（パキスタン13名、スリ・ランカ11名）24名と面談予定であったが、所在不明、長期休暇中、死亡等によりかなりの移動があった。今回指導班が在パキスタン日本大使館及びJICAコロンボ事務所の協力を得て追跡可能のパキスタン10名、スリ・ランカ7名の帰国研修員との面談を試み内パキスタン7名、スリ・ランカ6名と面談した。追跡可能帰国研修員リストは次頁のとおり。

LIST OF EX-PARTICIPANTS IN JICA'S GTC IN
AGRICULTURAL STATISTICS

(1973 to 1982)

S. No.	NAME AND OFFICIAL ADDRESS	DATES OF PARTICIPATION	HOME ADDRESS
1.	Mr. Assar Hussain Siddiqui Chief Statistical Officer Price Statistics Section Federal Bereau of Statistics 1-Shindhi Muslim Cooperation Housing Society <u>KARACHI</u> Tele : 439101 - 6/207	15 September to 30 November 1973	16/1-D Jacob Lines Karachi
2.	Mr. Amir Jan Khan Deputy Census Commissioner Provincial Population Census Organisation University of Feshawar <u>PESHAWAR</u> Tele : 41203	16 September to 30 November 1974	
3.	Mr. Abdul Jabbar Mian Assistant Chief (ITO Wing) Ministry of Commerce Government of Pakistan <u>ISLAMABAD</u> Tele : 25567	19 August to 13 November 1976	635-E Ramna 6/2
4.	Mr. Sadr-ul-Waheed Rizvi Research Officer Agriculture and Food Section Planning and Development Division Government of Pakistan <u>ISLAMABAD</u> Tele : 2000619	11 August to 31 October 1977	49/3-D, Street 30 Shalimar 6/1 Islamabad
5.	Rana Asghar Ali Khan Joint Commissioner (IV) Agricultural Census Organization Gurumangat Road Gulberg III <u>LAHORE</u> Tele : 882184	11 August to 31 October 1977	11-D Model Town Lahore
6.	Mr. Masood-ul-Hasan Research Officer (ES) Planning Unit Ministry of Food and Agriculture 139 H, Street 89, Ramna 6/3 <u>ISLAMABAD</u> Tele : 28379	10 August to	24-D Street 22 Ramna 6/2 Islamabad

S. No.	NAME AND OFFICIAL ADDRESS	DATES OF PARTICIPATION	HOME ADDRESS
7.	Mr. Noor Ahmad Khan Deputy Chief (Planning) Pakistan Agricultural Research Council L-13, Al-Markaz, Shalimar 7/2 <u>ISLAMABAD</u> Tele : 25733/09 & 26861	09 August to 03 November 1979	402, Ramna 9/1 Islamabad
8.	Ch. Mohammad Sharif Statistical Officer (Forestry) Ministry of Food and Agriculture Government of Pakistan H. No. 5, Street 55 Shalimar 7/4 <u>ISLAMABAD</u> Tele : 23871	06 August to 31 October 1981	397 - D Ramna 6/1-4 Islamabad
9.	Mr. Abdullah Soomro Deputy Director (Agri) Bureau of Statistics, Sind Planning and Development Department Government of Sind Tughlaq House <u>KARACHI-3</u> Tele : 511905	06 August to 31 October 1981	
10.	Mr. Manzoor Ahmad Hashmi Deputy Director (F. O) Bureau of Statistics, Sind Planning and Development Department Government of Sind Tughlaq House <u>Karachi - 3</u> Tele : 512245	05 August to 31 October 1982	16/3 Jehangir Road East Karachi-5

list of ex-participants

GROUP TRAINING COURSE OF AGRICULTURAL STATISTICS (SRI LANKA)

No.	Year of Attendance	Name of Participant (Mr. Mrs. Miss Dr.)	Post at that time	Home address	Official address
1.	1972 9/1-11/15	Mr. Chullapala Vawaratnk Garahitiyasrb	Statistical Officer Dept of Census & Statistics	No. 8, Miyathamani, Walpola Angoda	
2.	1976 8/19-11/13	Mr. Bandusena Magedara Vithanace	Agricultural Insurance Officer Agricultural Insurance Board	276 4, Wackwella Road, Calle	P.O. Box 563, Colombo 7
3.	1976 8/19-11/13	Mr. Pandakkara Vithanalance Cyril Perera	Statistical Officer Census and Statistics	3, Maithrt Mawatha, Arawwala Road, Pannipitiya	No. 4, Buller Lame, Colombo
4.	1977 8/11-10/31	Mr. A.M.V. Dissanaya	Statistical Officeal Dept. of Census & Statistics	356/1 High Level Road Gangodalila Nuwegoda	p.o. box 563 Colombo 7
5.	1978 8/10-11/1	Mr. Thambithurai Thmapalasingam	Statistical Officer Agriculture & Priging Division	Thavady South Kokuvil	Department of Census & Statistic
6.	1979 8/9-11/3	Mrs. Andpama Privadarshni De Silva	Statistical Officer, Dept. of Censis and Statistics, Director of Census and Statis- tics	Nalanda Calle Rd. Wadouwa	Dept. of Census and Statistics Box. 363 Colombo 7
7.	1980 9/25-11/24	Mrs. Batucedara Davitalace Pusnpalatha	Statistical Investice- tor, Planning and Pro- graming Div. Ministry of Fisheries	46/1 Vijithapuraya, Talanccamasouth	Colombo 3, Mini. of Fisheries

資料-3 農林水産統計コース帰国研修員巡回指導班質問用紙

巡回指導班の派遣に先立ち、別紙の様な質問用紙を作成し帰国研修員に送付した。同質問用紙はパキスタンについては面談時に提出し、スリ・ランカでは事前にJICAコロンボ事務所に送付してもらい質問事項及びその返答に基づき帰国研修員との面談及び受入機関担当者との会談を行なった。

SURVEY
OF
THE TECHNICAL FOLLOW-UP TEAM FOR JICA EX-PARTICIPANTS
IN THE GROUP TRAINING COURSE OF AGRICULTURAL STATISTICS

TEAM MEMBERS:

Junkichi TAKAZU

Senior Statistician
Planning & Information Division,
Economic Affairs Bureau,
Ministry of Agriculture, Forestry &
Fisheries.

Makoto ISHIDO

Technical Officer
Economic Statistics Division,
Economic Affairs Bureau,
Ministry of Agriculture, Forestry &
Fisheries.

Makoto INABA

Training Officer
First Training Division,
Training Affairs Department,
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

SURVEY

To: Ex-participants of the Course in Agricultural Statistics

Please answer the following questions. (Please write in block letters or typewrite.) When you use abbreviations, please give the full expression in parentheses)

I. General

1) Your full name (underline surname)

2) Home address

3) Year of attendance at the course

4) Name of present employer and place of occupation
(in English)

Name:

Address:

Telephone number:

5) Your present post and a brief description of your duties
and activities

Post:

Duties / Activities:

6) The most recent two posts which you have held

a) Latest one

Post:

Name of office:

Period:

Your activity:

b) Previous one

Post:

Name of office:

Period:

Your activity:

7) Please show a chart of your organization and indicate your section or position in detail.

d) Lectures:

- 1 Please put A, B, or C in the following rule according to your experiences.
A: important B: fairly important C: unimportant.
- 2 Lectures hours.
- 3 Please give your opinion on each subject.

Title of lecture	1 Mark	2 Frequency	3 Comments
Method of Sample Survey			
Computer Basic Knowledge Application			
Census of Agriculture and Forestry			
Annual Sample Survey of Agriculture			
Statistics of Livestock Breeding			
World Census of Agriculture			
Survey of Wood-production and Marketing			
Farm Household economy Survey			
Survey on Production-cost of Agricultural Products			
Survey on Production-cost of Livestock			
Statistic of Agricultural Income Crops Statistic Survey 1) Planted Area 2) Crop Villages			
Survey on Commodity Price and Wages in Rural villages			
Survey on Horticulture			

e) Field trip:

f) Language:

g) Other comments:

III. Comments regarding your present occupation.

1) If you have any technical problems at present, please describe them.

2) Please describe the kinds of statistics you have learned in Japan which are useful for your job or your organization.

3) As a result of attending this course, have you either introduced any new techniques or improved any previous techniques. If so, please describe.

- 4) If you present job concerns statistics, please show in detail the kind of statistics which you are making for you office.

IV. Regarding a continuing relationship between your country and Japan.

1) Do you have any sort of contract with other ex-participants or the same course? If you have, please mention.

2) If you have any requests or suggestions to the Japan International Cooperation Agency or the Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries, please state.

資料－４ 現地報告書

本巡回指導班ではスリ・ランカ出発時に別紙現地報告書を作成し、JICAコロンボ事務所に各関係機関への提出を依頼した。

パキスタン、スリ・ランカ両国訪問についての詳細なる報告書については、質問用紙及び関係書類・文書の解析の上作成し後日 在パキスタン日本大使館及び在パキスタン総領事館、JICAコロンボ事務所に送付する事とした。

9th March, 1983

Dear Sir,

JICA FOLLOW-UP TEAM FOR EX-PARTICIPANTS OF GROUP TRAINING
COURSE IN AGRICULTURAL STATISTICS

We have great pleasure in submitting herewith our Summary Report on the above subject before leaving the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka.

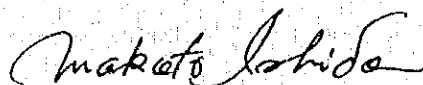
The record of our activities in this country and some comments are shown in the attached papers.

The team members would like to take this opportunity to express their deepest gratitude to the warm hospitality and effective co-operation extended by all the personnel and authorities concerned.

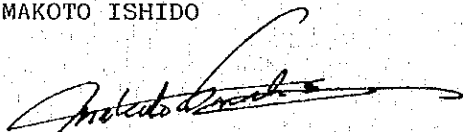
Sincerely yours,



JUNKICHI TAKATSU



MAKOTO ISHIDO



MAKOTO INABA

SUMMARY REPORT ON THE TECHNICAL FOLLOW-UP TEAM FOR THE
EX-PARTICIPANTS OF THE GROUP TRAINING COURSE IN AGRICULTURAL STATISTICS

1. GENERAL

It is our great honour to have the opportunity to visit the Democratic Socialist Republic of Sri Lanka as technical follow-up team, consisting of three members as mentioned below, for the ex-participants of the Group Training Course in Agricultural Statistics, which has been conducted by the Japan International Co-Operation Agency under the technical Co-Operation programme of the Government of Japan.

After the Arrival in Sri Lanka on 3rd March, 1983, from Pakistan, where we visited first for the above mentioned purpose, we have accepted the friendly treatment extended to us and we are sure to complete our scheduled objectives; i.e. to have meetings and discuss with ex-participants and persons concerned and to introduce recent Japanese Agricultural Statistics by movie and lecture.

As shown in the attached papers, the matters discussed will be taken back to Japan and reported to the related persons.

Through our discussions and observation, we have obtained previous information for further improvement of this course.

We would like to express our deepest gratitude to the warm welcome and kind co-operation extended to us during the whole period of our stay in Sri Lanka.

2. TEAM MEMBERS

i) Mr. Junkichi Takatsu,
Senior Statistician,
Planning & Information Division,
Statistics & Information Department,
Economic Affairs Bureau,
Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries.

ii) Mr. Makoto Ishido,
Technical Officer,
Economic Affairs Division,
Statistics & Information Dept.,
Economic Affairs Bureau,
Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries.

iii) Mr. Makoto Inaba,
Training Officer,
First Training Division,
Training Affairs Dept.,
Japan International Co-Operation Agency.

3. OBJECTIVES

The main purposes of this team are to -

- i) Measure and evaluate the result of the training in Japan for ex-participants, and exchange views and opinions with them and persons concerned for further improvement of this course.
- ii) Investigate and understand the present situations of this country especially in the field of agricultural statistics.
- iii) Introduce the latest method and information of agricultural statistics in Japan.

4. SUMMARY OF SCHEDULE

3RD MARCH (THURSDAY)

- 10.45 Arrived in Sri Lanka by PK 774
- 14.00 Visit to JICA Office Colombo
Schedule adjustments consulting Mr. Ikeda, Director of JICA Office Colombo.
- 16.00 Courtesy call to the Embassy of Japan.

4TH MARCH (FRIDAY)

- 9.00 - 10.00 Courtesy call to Colombo Plan Bureau- Meeting with Dr. M. Huq, Chief Economic Advisor.
- 10.00 - 11.30 Courtesy call to Dept. of External Resources. Meeting with Mrs. C. Amerasekera - Deputy Director.
- 14.00 - 15.00 Courtesy call to Ministry of Agricultural Development and Research. Meeting with Mr. K.P.R. Silva - Statistician.
- 15.30 - 17.00 Courtesy call to Dept. of Census and Statistics (Ministry of Plan Implementation) Meeting with Mr. A.A.D.C. Yasasiri - Deputy Director and Meeting with JICA ex-participants of the course at the Dept. of Census and Statistics.

5TH MARCH (SATURDAY)

Observation of Fisheries Villages and Fish markets in Bentota and Kalutara.

6TH MARCH (SUNDAY)

Observation at Central Agricultural Area - Peradeniya, Kandy etc.

7TH MARCH (MONDAY)

Observation at Central Agricultural Area.

Visit to Peradeniya Branch Office of the Dept. of Census and Statistics.

Visit to Bulumulla Village for observation of crop cutting survey.

Visit to Janatha Estates Development Board.

8TH MARCH (TUESDAY)

10.00 Seminar and Discussion with ex-participants at JICA Office
15.00 Colombo

9TH MARCH (WEDNESDAY)

Report making

10TH MARCH (THURSDAY)

8.00 Leave Sri Lanka by UL 422

5. MATTERS DISCUSSED

1) GENERAL

After the arrival in Sri Lanka, we visited ex-participants organisations and related organisations for offering guidance, consultations, evaluating the results of training in Japan and assessing problems and needs in Sri Lanka as well as for improving JICA's training programmes.

Through discussions, we understood that our government and officers have given a high priority to the agricultural statistics.

Also while staying in Sri Lanka, we got much information concerning agricultural statistics in Sri Lanka. At the time of visiting Kandy, we had the chance to observe the actual way of crop cutting survey in rural areas. We actually consider that method is very much suitable to your country. Also, the statistics and arrangements in organisations concerned are much more than to our expectations.

We strongly desire to exchange those experiences in training in both countries and to have much more closer relations.

2) REQUESTED MATTERS

As mentioned above, the requested matters will be taken back to Japan and submitted to organisations concerned.

Requested matters are as follows:

- i) Every year participation from Sri Lanka (No participation in 1981 & 1982).
- ii) Extension of Duration of Training (Two or Three months more)
- iii) Re-arranging of contents of the course.

PARTICIPANTS REQUEST THE FOLLOWING SUBJECTS
BE INCLUDED TO THE COURSE

Method of Sample survey, Census & Agriculture, Annual Sample Survey of Agriculture, Farm Household Economy survey, Survey on commodity price and wages in rural areas etc.

iv) Number of field trips to be increased.

v) Training to be conducted in English.

6. SUMMARY OF SEMINAR

We have conducted the seminar for introducing the current Agricultural Economy in Japan and also showing actual method of Agricultural Statistics survey with film.

Lecture titled "Recent Trend of Japanese Economy" was given by Mr. M. Ishido using current data(Annex)

Items which lectured are as follows:

i) The current economy in Japan.

Nowadays, G.N.P. growth shows slower increase than before, due to the decline in private expenditure. Final consumption expenditure of Government and export and capital formation of Public are dwelling.

ii) Production of Industry.

After the second oil crisis, the index shows a decline. This is mainly due to the slump in equipment investment by small middle-size enterprises sluggishness in construction and continued production adjustment in major material-producing industries.

iii) Agricultural Production and farm household economy.

a) Agricultural Production index showed drop; the slow growth of Agriculture is caused mainly by damage due to bad weather and a result of an effective production control policy.

b) Farm Household Economy i. A general situation of farm household.

ii. Account of income and expenditure.

iii. Finance.

After the lecture given by Mr. M. Ishido, the actual works of Statisticians in rural areas in Japan and Japanese Crop Cutting Survey systems were introduced by film.

Through discussions, we were able to deepen our understanding as regards this method between Japan and Sri Lanka.

資料4. 入手資料一覧表(以下の入手資料はJICA資料室に保管されている。)

パキスタン

- 1) Monthly Statistical Bulletin - Federal Bureau of Statistics Government of Pakistan
- 2) National Chilkdea Improvement Project - Pakistan Agricultural Research Council
- 3) Agricultural Statistics of Pakistan - Government of Pakistan Ministry of Food Agriculture and Co-operatives Food and Agriculture Division
- 4) National Accounts of Pakistan - Federal Bureau of Statistics.
- 5) News Letter - Federal Bureau of Statistics.
- 6) Pakistan's Key Economic Indicators - Federal Bureau of Statistics.
- 7) Catalogue of publications - Federal Bureau of Statistics
- 8) Pakistan Agriculture Basic Data - Ministry of Food Agriculture and Cooperatives
- 9) Prospectus - Barani Agricultural College Rawalpindi
- 10) Punjab Barani Tract - Agricultural College Rawalpindi
- 11) Report on Activities of the Statistics Division - Statistics Division Ministry of Planning & Development Government of Pakistan
- 12) Action Programme for Rabi 1982-83. In Islamabad Capital Territory - Technology Transfer Unit Pakistan Agricultural Research Council
- 13) Crop Acriage Statistics of Sind Khrif-1981, (Rabi 1980-81), Bureau of Statistics
- 14) Booklets of National Agricultural Research Centre
- 15) Pakistan Census of Agriculture 1980, Preliminary Report - Agricultural Census Organization, Statistics Division, Government of Pakistan, Lahore
- 16) Cost of Production of Major Crops, Under Irrigated and Under Un-Irrigated (Barani) Conditions, Nov. 1980 - Government of Pakistan, Planning Division, Agriculture and Food Section
- 17) A Bird Eye View of Rural Development in Pakistan, Feb. 1983 - Government of Pakistan, Statistics Division, Federal Bureau of Statistics
- 18) Statistical Pocket Book of Pakistan, 1982 - Statistics Division, Federal Bureau of Statistics

スリ・ランカ

- 19) Socio-Economic Indicators of Sri Lanka, Feb. 1983 - Department of Census and Statistics, Ministry of Plan Implementation
- 20) Agriculture Statistics of Sri Lanka 1951/52 - 1980/81 - Ministry of

Agricultural Development and Research

- 21) Instructions for Conducting Crop Cutting Surveys to Estimate the Yield of Paddy - Department of Census and Statistics
- 22) Paddy Statistics, 1982 Yala - Department of Census and Statistics, Ministry of Plan Implementation

JICA